



主力製品 各種ガラス製品

- 本社所在地：千葉県柏市十番二380番地
- 事業概要：光デバイス用ニューガラスと多層膜蒸着製品等の製造
- 常時使用する従業員：173名
(2025年4月時点)
- 現在の売上高：44億円
(2025年3月期)
- 法人番号：2040001065334
- Web：https://ogc-jp.com/

岡本硝子株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



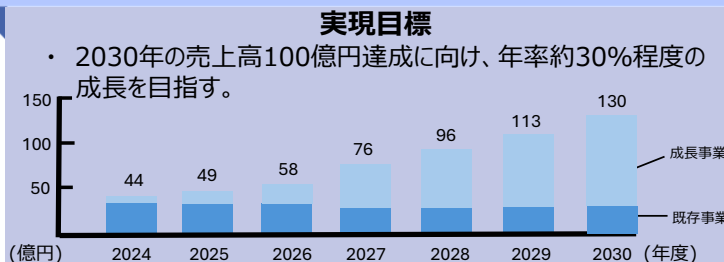
代表取締役会長兼CEO
岡本 毅

ガラスのあらゆる可能性を追求し、人々の豊かな暮らしに貢献します

当社は、“生業(なりわい)”としてのガラスに拘り、世界シェアNo.1の3製品(プロジェクター用反射鏡;92.7%、同フライアイレンズ;65.9%、歯科医用デンタルミラー;約7割)を中心に、ガラスレンズ(車載・医療・エレクトロニクス)や「江戸っ子1号」用耐圧ガラス球に代表される海洋開発・環境アセス向けガラス球など多種多様な製品を展開しています。

今後は、生成AIデータセンターやHV,PHV,EV等のxEV向けパワーモジュール等の半導体熱量UPに伴う放熱問題を解決する次世代半導体用放熱基板や生成AIのデータセンターの超高速光通信に必須であるガラス製偏光素子などの成長分野向け製品を通じ、脱炭素社会、高度情報化社会、地球環境保全といった多様な社会課題の解決に貢献するとともに、社員の挑戦機会拡大と処遇改善を実現します。また、100億円企業への成長を通じ、持続可能な社会の実現と千葉・柏から世界に誇れる企業づくりを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- 7つの成長事業に着目し、そうした新製品の量産に向けた技術開発及び量産設備投資を行う(7つの内2つは完了済)。中でも、①次世代半導体用放熱基板 ②ガラス製偏光素子 ③新導光体デバイスに経営資源を集中
- さらには、ガラス製造ノウハウのAIによる置換えと蓄積を含めたDX化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 成長事業の内、新製品に関しては、協力会社等と協業による技術開発の推進により、顧客ニーズに応じた高機能化・カスタム対応力を強化
- 設備投資による量産設備導入と生産体制の構築
- 重点市場での展示会出展等、海外子会社・協力会社を活用した顧客先の開拓

実施体制

- 重点プロジェクト及び成長事業は、全て経営トップ直結で実行されており、管理・経営判断を迅速化
- 技術開発と製造は、1つの本部として全社を管理・運営し、また、将来のあるべき姿を追求
- 海外子会社のネットワークや営業活動の強化
- ECサイトを活用したマーケティング体制及び販売拡大

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです